

運転免許の学科試験でも 合理的配慮を受けられます！

私は、神奈川県議会の9月定例会で、県運転免許センターでの学科試験における発達障がい者への合理的配慮について質問を行いました。発達障がいとは、具体的にどのような障害で、どのようなことに困難を感じるのか、そして、どのような支援が適切なのか、正確に理解している方はまだ多くはありません。そのため、自動車免許の取得において、その特性を理解した対応が行き届いていないところもあり、教習所のカリキュラムを途中で諦めたり、免許センターでの学科試験でも、内容は理解できているのに実力が発揮できず、何度も学科試験を受けた方が大勢おられます。

今年の4月から、行政だけでなく民間企業にも、障がいのある方への合理的配慮の提供が義務化されています。しかし、県免許センターにおける合理的配慮について、県警ホームページを見ても、どこにも明記がされておらず、対応が不十分と考えました。また、現在、県の学科試験は紙の問題と解答用紙での受験ですが、他自治体では、既にタブレットを導入しているところもあります。そこで発達障がい者にとって受験の助けとなるタブレットの導入についても質問しました。

警察本部長からは以下の答弁がありました。

- ①運転免許センターでは、安全運転相談窓口で障がい者の方からの相談に応じているが、広く周知するために、県警ホームページに新たに掲載する。
- ②発達障がい者の運転免許取得に際しては、自動車教習所や支援をしている関係団体、関係機関などとも連携し、対応可能な受験方法等について個別の相談に丁寧に応じていく。
- ③学科試験へのタブレット端末の導入については、発達障がい者からの要望内容や先行県の状況等を踏まえつつ、導入の可能性について継続して検討していく。

発達障がいのある方が、車社会に等しく参加できる環境を整えていくことは、共生社会の実現のために重要な課題です。安心して学科試験を受験できるよう今後も引き続き取り組んでまいります。

【相談窓口】運転免許センター試験第一係 TEL 045-365-3111(代) (月～金 10:00～12:00、15:00～17:00)

公明党

神奈川県議会議員



おだ 幸子さん

プロフィール

藤沢市辻堂東海岸在住
明治大学政治経済学部・日本工業大学
専門職大学院卒業
中小企業診断士・防災士
MOT（技術経営修士）
大手損害保険会社に29年勤務
元日本工業大学専門職大学院客員教授
2023年神奈川県議会議員選挙初当選
家族は夫と大学生の息子

【所属委員会など】

- ・議会運営委員会
- ・産業労働常任委員会
- ・共生社会特別委員会
- ・予算委員会
- ・公明党神奈川県議会議員団
政務調査副会長

ご意見ください

【連絡先】

神奈川県議会公明党控室
TEL 045-210-7630
HP・SNS <https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSは
こちらから



<https://s-el.jp/k/os>